

【GIGA×指導の工夫・改善】 体育・データ分析による個々のパフォーマンス向上①

【classroom】

バレー⑫ 試合実践・評価

授業の流れ

○動画を見て「なぜラリーが続くのかを考える」

⇒チャットで共有

⇒振り返りでいい発言を紹介

○アドバイスシートや振り返りを見て個人やチームの課題や約束事を決める（フォームスで回答）

○各チーム総当たり戦によるミニゲーム（各7分）×3試合

・見学チームは上から見て気づいたことやアドバイスシートに追記かスコア記入⇒振り返りで活用

⇒各自で作戦や気づいたことを話し合う

○振り返り

⇒フォームスで回答

課題提示：チームの課題にあった作戦を立てることができる

情報収集：フォーメーションやポジションの確認。これまでの試合分析のデータや振り返りを活用する

整理分析：各チームの作戦や約束事を決めるフォーメーションやポジションの確認

（振り返りやスコアを参考にしよう）決まったら代表者がチーム分けのところに記入

まとめ表現：フォームにて振り返り

データ・情報の収集

試合スコア

<https://docs.google.com/document/d/1absHjZ42K1b7zX5QrmAHqYc9nc2QWCThw6Y1J3y96E/edit?usp=sharing>

1月14日

対戦相手	B
対象チーム	A
分析チーム	C
得点	点数
サービスポイント	1
レシーブポイント	2
サービスポイント	3
サービスポイント	4
サービスポイント	5
	6
	7
レシーブポイント	8
サービスポイント	9
サービスポイント	10
レシーブポイント	11
サービスポイント	12
サービスポイント	13
	14

対戦相手	C
対象チーム	B
分析チーム	A
得点	点数
サービスポイント	1
サービスポイント	2
サービスポイント	3
サービスポイント	4
サービスポイント	5
サービスポイント	6
サービスポイント	7
サービスポイント	8
サービスポイント	9
サービスポイント	10
レシーブポイント	11
サービスポイント	12
サービスポイント	13
	14

対戦相手	A
対象チーム	C
分析チーム	B
得点	点数
サービスポイント	1
スパイクポイント	2
レシーブポイント	3
サービスポイント	4
レシーブポイント	5
レシーブポイント	6
サービスポイント	7
サービスポイント	8
サービスポイント	9
サービスポイント	10
レシーブポイント	11
サービスポイント	12
サービスポイント	13
サービスポイント	14

単元計画・評価

1 2 1 0

3) 1 2 1 3

4) 1 2 1 6

5) 1 2 1 7

6) 1 2 2 0

準備

単元について理解し、調べ学習ができる

単元の特性を理解し、自らの課題を把握する

動作分析で課題の発見と改善のための練習法を考えることができる

課題改善のための練習法を発見し仲間と協力して練習できる

オリエンテーション

ボールアップと簡易なゲーム

動作分析①
動画

動作分析②
分析・比較

課題練習
ペア・個人

知識

知識

主体的な態度

思考判断表現

主体的な態度・思考判断表現

7) 0 1 0 6

8) 0 1 0 7

9) 0 1 1 4

10) 0 1 1 7

11) 0 1 2 0

12) 0 1 2 1

動きの理解

実践形式

振り返り・まとめ

ポジションと定位置に戻る動きが理解できる

試合を分析して、チームの特徴にあった作戦を立てることができる

定位置に戻る
動き・ポジション

定位置に戻る・
ローテーション

ポジション・
フォーメーションの工夫

試合形式
戦術・作戦

試合形式

単元の振り返り
簡易筆記試験

思考判断表現

思考判断表現

主体的な態度

リーディングDXスクール事業 【GIGA×指導の工夫・改善】

沖縄市立コザ中学校（沖縄県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 体育・データ分析による個々のパフォーマンス向上②

<考察>

これまでの授業では、生徒の活動の可視化が困難であった。ワークシート等で文字で表現しても伝わりにくいところがあった。しかし、クラウドを活用した協働編集で互いのプレーを可視化できるようになり、客観的に課題を把握することができるようになった。そのため、1人1人に合わせた効果的な指導や練習内容の再構築等に役立っている。また、データを情報収集することで、データに基づき戦術の有効性を客観的に判断し、チームの戦略を見直すこともできるようになった。

このようにクラウドを活用し、授業を進めることで、教師1人では把握しづらかったところまで生徒同士で協働的に学び進めることができるようになり、これまで以上に生徒の主体的な学びを進めることができ、個々のパフォーマンスが向上している。

アドバイス視点の例

- サーブ・レシーブなどの基本技能は出来ているか
- ポジショニング・フォーメーションに工夫はあるか
- ローテーションはスムーズに出来ているか
- 声掛けや落下地点などの確認はできているか
- 守備の際に空いたスペースを埋めようとしているか（定位置に戻る動き）

など様々な視点で**具体的なアドバイス**をしましょう。

試合しているチームへアドバイス



試合を見ながら
情報収集



試合中

中心らへんに空いてるスペースがあるので、そこを後ろの人が埋めるようにすると良かった。

空いてるスペースがあるから距離感を縮めてスペースを少なくする